



特記事項
(修繕概要)

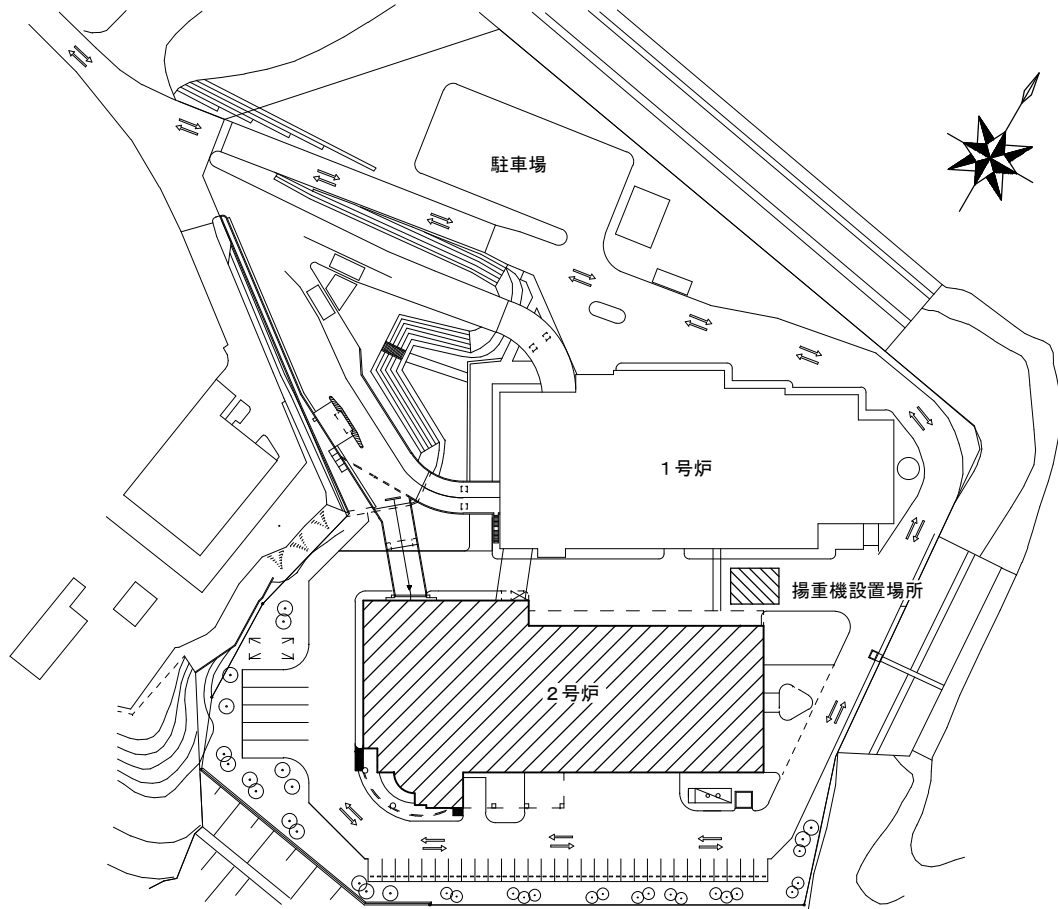
- ・既設の空調設備の取替を行う。
- ※更新箇所は図示による

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・修繕期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。
- ・本施設は、年中無休24時間稼働しているため、作業日程は施設管理者と協議のうえ決定する。
- ・騒音を伴う作業または停電を伴う作業を行う工程は施設管理者と協議のうえ決定する。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、修繕過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本修繕に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・修繕用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・修繕用車両及び修繕関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、修繕着手及び 修繕完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、修繕着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、修繕完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

- ・本修繕により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- また、修繕着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・修繕完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・修繕着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。
- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等を遵守すること。
- ・当該修繕を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(令和2年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。



配置図 S=1/1500

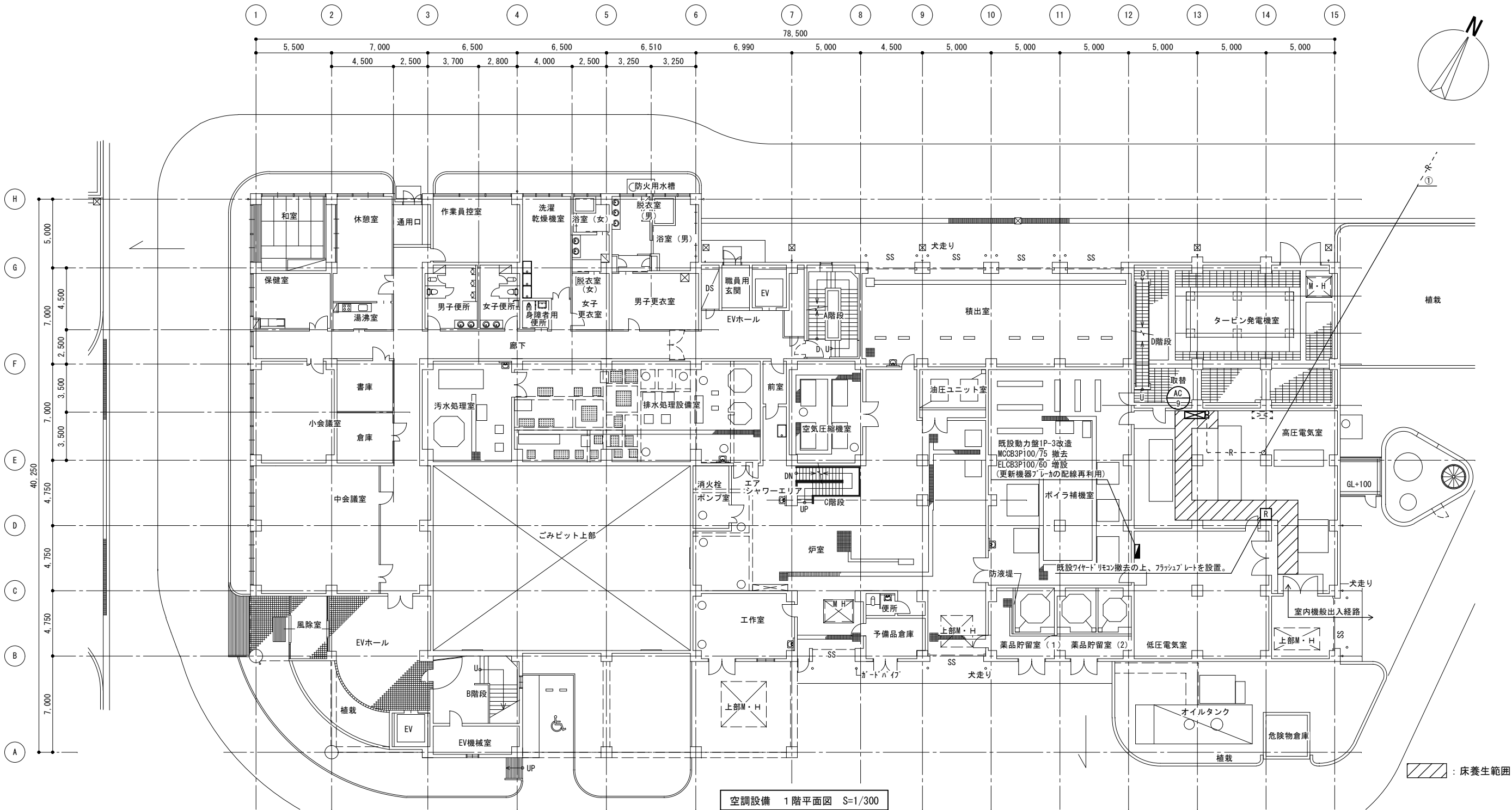


修繕対象範囲を示す

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和4年版」
独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市西部クリーンセンター 2 号炉高圧電気室空調設備取替修繕		縮尺 1/1500
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A3
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 1/3



空調機器表（撤去） 空冷ヒートポンプ式			
記号	形式・名称	仕様	台数
AC-9	パッケージエアコン	冷房能力：30.0kW 3相200v	1
	床置リモコン型	プレナム室、プレナム室用ブーリ、防振架台（室内機用）	
	年間冷房型	既設機器型番：SRPJ300PAK-C（ダイキン工業）	

空調機器表（新設） 空冷ヒートポンプ式			
記号	形式・名称	仕様	台数
AC-9	パッケージエアコン	冷房能力：30.0kW（最大） 3相200v	1
	床置リモコン型	プレナム室、プレナム室用ブーリ、防振架台（室内機用）	
	年間冷房型	室内機基礎：既設鉄骨架台流用 水平震度 Kh=0.4	
		室外機基礎：鉄骨架台新設 水平震度 Kh=1.0	

特記事項			
運転特性、能力はJIS条件による。空調機トップランナー基準改定仕様とする。			
冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。			
機器は同等品以上とする。また、グリーン購入法基準を適用するものとする。			
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。			

凡例		
図示記号	名 称	備 考
——	新設配管	
----	既設配管	
—II—	既設配管	
——R——	新設配管接続部分	
——R——	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管：10mm ガス管：20mm 保温仕様 屋内露出：ポリスチレン保温筒＋カラー垂鉛鉄板仕上げ 屋外露出：ポリスチレン保温筒＋SUSラッキング仕上げ
——D——	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 屋内露出：ポリスチレン保温筒＋カラー垂鉛鉄板仕上げ
[R]	ワイヤードリモコン	

空調設備取替要領			
1. 空調室内外機の取替をおこなう。			
2. 冷媒管、室内外連絡線、室内機電源は既設利用とする。			
3. ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。			
4. 既設のワイヤードリモコンを撤去し、フラッシュプレートを設置する。			
5. ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。			
6. 室内外機はSUS製プレートにて固定、ワットにて締付けること。			

冷媒管リスト			
記号	液管	ガス管	室内外連絡線
①	φ15.9	φ22.2	VVF2.0-3C

津市西部クリーンセンター2号炉高圧電気室空調設備取替修繕		縮尺
		1/300
図面名称	空調設備 1階平面図	原図：A3
津市建設部営繕課		No. 2/3

